



中三 梶谷健一

はじめに

2013年某日、後輩から北陸で走っている最後の国鉄急行形電車とその末裔が消えると聞き急いで旅の計画を練った。いろいろと試行錯誤したが、2014年3月14日と15日に実行することにした。

ここからがこの旅行の本番の記事である。何章かに分けて紹介することにしよう。

## その1 乗り遅れたら終わる!!

2014年3月14日

朝4時頃に起き朝食を食べ、青春18きっぷを手にもつ私鉄の最寄り駅に向かう。5:02発の始発に乗り山手線の某駅に向かう。この5:02発の始発を逃すと、全行程が狂うことになるので気をつけなければならない。

山手線に乗車後、上野へと向かう。

上野から高崎線で高崎へと向かう。

上野からの行程を写真付きで紹介することにしよう。

### その1の分での乗車記録

|                  |           |              |
|------------------|-----------|--------------|
| ????M 普通前橋行(高崎線) | 上野 5:43 発 | 高崎 7:28 着    |
| 725M 普通水上行(上越線)  | 高崎 7:45 発 | 水上 8:51 着    |
| 1733M 普通長岡行(上越線) | 水上 9:47 発 | 越後湯沢 10:13 着 |

高崎線はE233系だった。朝も早かったのどうととしていたのではっきりは覚えていない。

たしか新町駅付近で遅れてたのかな(八高線の遅れによる徐行運転のため)。

高崎到着後から次の列車(725M)までは特に何事もなくのんびりしていた。

高崎で来た電車は 107 系 100 番台だ。

渋川まではラッシュ時と思われる混雑であったが、そこから先(渋川から先)は僕たちしかいなかった。



←107 系 100 番台(高崎にて)

こちらは何事もなく定刻に到着した。

水上到着後から次の列車まで一時間ほど暇があったので(予定の 1 本前の列車に乗りこえてしまったため)駅前を散策したが、10 分くらいで駅に戻った。

その直後に長岡行の普通列車が来た。

来た電車は 115 系 1000 番台(新潟色)だ。

誰も乗りこえてこなかったため、席を陣取ったあとに車内探検をしていた。

その後また改札を出たあとに時刻表を見ると・・・

| Time  | Destination |
|-------|-------------|
| 8:24  | 長岡          |
| 9:47  | 長岡          |
| 13:42 | 長岡          |
| 17:43 | 長岡          |
| 20:36 | 長岡          |

一日 5 本しかない!!!

その後の水上 9:30 着(高崎方面からの列車)(115 系湘南色) の列車が来ると人が乗ってきたが、結局 1733M(3 両の列車)10 人ぐらいしか乗っていなかった。

そして、定刻に 1733M は発車した。

この 1733M 乗車中には一つの見所がある。

それは、土合駅だ。

土合駅は、地上から 486 段の階段を降りたところにホームがあるのだ(越後湯沢、長岡方面のみ)(水上方面は地上)。

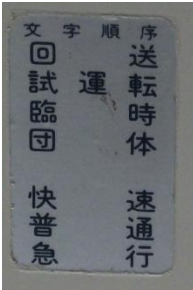


←土合駅のホーム(越後湯沢、長岡方面)。

土合駅をすぎると特に何もなかったのうたた寝していた。

越後中里付近で保安装置がキンコンキンコンキンコンなりだした瞬間にはっと起きた。その後、越後湯沢まで前を見ていた。

ふと上を見ると…



字幕の表示順序のところに急行幕が!!

何に使うのでしょうか。

そうこうしているうちに越後湯沢に到着。

ここで大体の人が降りた。

新幹線にでも乗るつもりなのだろうか。

そして僕たちは、階段を渡り北越急行に乗り換えた(正式に路線分離するのは六日町だが、確実に座れると思い、越後湯沢から乗車した)。



←115系 1000番台(水上にて)





こういうときは列車無線が頼りになると思って、運転席近くで無線に耳を傾けていたが、うるさくて何も聞こえなかった。



←乗車した北越急行 HK100 形(十日町にて)

これは不味いと思ったが、15分程度の遅れで運転を再開した。

遅れを回復出来ずに直江津に到着

直江津で一時間ほど休憩があったので、撮影を敢行。そして食事。

いくつか写真を載せておく。



時計回りで上から、北陸本線 413 系 B04 編成(直江津寄り先頭車に 455 系 700 番台を組み込んだ珍編成)、485 系 3000 番台特急北越、115 系長野色、北越と 681 系 8000 番台はくたかとの並び。

2015 年 3 月 14 日のダイヤ改正で北越とはくたかが運転終了になったので(北陸新幹線金沢開業によるもの)、貴重なショットになりそうだ。



見ていることが飽きなかった。

金沢からは 521 系に乗車したが、最初に戸惑ったのはドアを手で開けるのではなく(半自動ドアだということには全く戸惑わなかった)、ドアボタンで開けるのだ。高崎からはずっと扉は手で開けるタイプだったのでそれに慣れてしまったのである。

その後、JR 西日本特有の転換クロスシートに身を委ねる。

松任までは大学生とみられる人たちで混んでいた。

細呂木駅のホームが路面電車のホーム並みに低かった。

福井で降車し、ホテルに向かう前に越美北線の車両が来ているということで撮影を敢行。



←キハ 120 形(福井にて)

来たのは JR 西日本の気動車のスタンダード、キハ 120 形だ。

この車両は、越美北線専用の 200 番台でありほかの番台に使用されているステンレスは使われていない。最近の車両に使われているステンレスやアルミは使っていない。

普通鋼が使われているのだ。

そのため JR 西日本による「地域単色化」の魔法にかかり、以前のカラフルな色から一色塗りの車両になった。

気動車はすべて、皆さんおなじみの首都圏色(朱色 5 号(たらこ色))である。

撮影した車両、沿線アピールのためどうやら数ヵ月後にラッピングが施されたようだ。

その後、福井の名物「ソースカツ丼」をヨーロッパ軒で堪能し、翌日の朝食用に食料をコンビニで買い込む。

そして明日も早いため 21:00 頃に就寝した。

## その4 僕らの北陸路!!②

2014 年 3 月 15 日

とある撮影地に行くため 5:00 ごろに起床。そして朝食を食べ、チェックアウトをしてタクシーで撮影地の近くへと向かう。

その鉄橋の近くの歩道は凍りついていて、地面を踏まなくても勝手に足が進んでいった。



そして、撮影を敢行した。  
いくつか写真を載せておく。



時計回りで上から、521系 G13 編成、EF81 形 721 号機、521系 J17 編成、683系 2000 番台。  
521系 3 次車(J 編成)が確実に増えていることを実感しながら、撮影地の最寄りの森田駅へと  
向かう。

森田から福井へ行き、えちぜん鉄道の三国港線に乗る。  
高架駅の JR と違ってこちらはまだ地上だ。











←313系(金山(名鉄ホーム側)にて)(後日撮影)

僕たちはモータ車の号車の座席に腰をおろし、モータ音を録音していた。

録音終了後、福井で買ったかりんとう饅頭を頬張る。

ところで、そのかりんとう饅頭のつつみに「当商品は、サクサク感を大切にしておりますので、販売当日中にお召し上がり下さい。」と書かれてある。

かなり品質を大事にしているらしく、食べている時にその美味しさが伝わってきた。

食べているうちに名古屋へ到着。

名古屋で降りると、隣のホームにワイドビューひだが来たので撮影。



←ワイドビューひだ(名古屋にて)

その後は同級生の W 君の頼みで名古屋市交通局東山線に乗る。

乗っていると、右側で何やらチョッパ制御の音が。

そう、それは 5000 形である。

なにやら珍しそうだったので W 君にメールで聞いてみると、かなりレアだということ。

カメラに 5000 形の写真を収め、夕食を食べる。

新幹線ホームのきしめん住よしに行きたかったが、混んでいるとのことなので割愛。

名鉄百貨店に入り、きしめんの店へ。

何かの丼ものとのセットを頼んだような気がする・・・

食後、名古屋駅へ戻り、新快速へ

これもまた 313 系なので省略。

ラッシュ時と思われる混雑が蒲郡まで続いた。

蒲郡からは豊橋まではひと駅なので、かぶりつく。

豊橋では地獄の乗り換えが繰り広げられる。

豊橋からは本日二度目、311系に乗車した。

転換クロスシートを堪能できる区間が最後だと思うと悲しくなった。

そうこうしているうちに浜松に到着。

もうここからは新幹線だ。(つまりワープする)

誰もいない14号車に乗り込む。

旅の終わりはこんな切ない空気なのか・・・

あっという間に新横浜に到着。

もう475系をお目にかかれることはめったにないのか・・・

菊名駅で18きっぷのはんこを見せたときにもう旅は終わりなのかと思っている間に、現実  
引き戻されてしまった。宿題地獄いやな現実を追われてしまうのか・・・

そこからは某私鉄で帰りました。

某私鉄めっちゃすいてたあああああ。



今回の旅行について・・・

2日間というののもったいなかったなというのを感じた。

北陸の寒さが半端でないと思ったら意外に首都圏と同じくらいの寒さじゃないか!などと、予想していたことを覆されるような旅行だった。

旅行の計画について

ものすごく急な計画でした。(それに対応してくれた親には本当に感謝します!!)

最後に・・・

このつたない文章を読んでいただきありがとうございました。





参考文献

えきから時刻表

<http://www.ekikara.jp/top.htm>

北陸本線撮影地ガイド

[http://www.geocities.jp/miyakazepage/mp4/4\\_03\\_09.html](http://www.geocities.jp/miyakazepage/mp4/4_03_09.html)

まるはち交通センター

<http://www.maruhachi-kotsu.com>

ありがとうございました!!